

ソフトウェアを更新する

↓ ソフトウェアの更新について

↓ 手動でソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新について

本機は、あらかじめ設定されている時刻にソフトウェアの更新が必要かどうかを確認し、必要な場合は自動的に更新するよう設定されています。

ソフトウェア更新時のご注意

アプリケーションについて

新しいアプリケーションが追加／更新されたり、アプリケーションの名称やマーク、操作方法、画面表示などが変更されたりすることがあります。

- アプリケーションや機能を利用しているときは、ソフトウェア更新は行われません。

ソフトウェア更新中の操作について

更新が完了するまで、本機は使用できません。ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。

- 手動でソフトウェアを更新することもできます。

データバックアップについて

本機の状況(故障・破損・水濡れなど)によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

手動でソフトウェアを更新する

電波状態の良い所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中で電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなったりすると、更新に失敗することがあります。

- 更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります。

■ ➔ 設定 ➔ 端末情報




2

ソフトウェア更新



 ソフトウェア更新画面が表示されます。

ソフトウェア更新 → はい → 画面に従って操作

 ソフトウェア更新が実行されます。

+ ソフトウェア更新時の操作

自動でソフトウェア更新をするかどうかを設定する

ソフトウェア更新画面で自動更新設定 → (ON) / (OFF)

自動更新の開始時刻を変更する

ソフトウェア更新画面で更新時刻設定 → 時刻を選択 →  (確定)

トラブルシューティング



↓ 故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に

気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、最寄りのソフトバンクショップまたは[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

? こんなときは

Q 電源が入らない

A  を長押ししていますか。ロゴが表示されるまで、 を押し続けてください。

A 充電はできていますか。充電ができていないときは、本機を充電してください。



A 本機の温度が高い状態で使用し続けて、電源が切れませんでしたか。本機の温度が下がったあと、電源を入れてください。

Q 電源が切れる／電源が入らない

A 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、電源が切れま
す。この場合には、本機の内部温度を下げるため、すべてのアプリケーションを終了して
から、画面を消灯してください。

Q フリーズ／動作が不安定


A 本機が動作を停止したり入力を受け付けなくなったりしたときは、強制的に再起動する
ことができます。




 +  (10秒以上長押し)

Q 電話やメール、インターネットが利用できない







A 電波の弱い場所や圏外の場所にいないかご確認ください。

A 電源を入れ直してください。

A 機内モードに設定されていませんか。ステータスバーに  が表示されているときは、次の
操作で機内モードを解除してください。

 (長押し) →  (簡易設定) → 機内モード ( 表示)

A モバイルデータが無効になっていませんか。次の操作でモバイルデータが有効となってい
ることを確認してください。

 →  設定 →  無線・ネットワーク →  データ使用量 →  モバイルデータ ( 表示)

A 無効なアクセスポイントが設定されていませんか。次の操作で初期設定に戻すことができ
ます。

Q 電池の消費が早い

- A** 電波の弱い場所や圏外の場所に長時間いませんか。電波の弱い状態で通話したり、圏外の場所にいたりすると、電池を多く消費します。
- A** 撮影ライト／簡易ライトを点灯する操作や、音を出す機能／操作、外部機器との通信などを頻繁に行ったり、ディスプレイを明るく設定したり、点灯時間を長く設定したりすると、本機の使用可能時間は短くなります。

Q 充電できない／充電に時間がかかる

- A** ACアダプタのUSB Type-Cプラグが本機にしっかりと差し込まれていますか。いったん取り外し、もう一度確実に差し込んでください。
- A** ACアダプタのプラグが、家庭用ACコンセントにしっかりと差し込まれていますか。いったん取り外し、もう一度確実に差し込んでください。
- A** 指定品以外のACアダプタなどを使っていませんか。必ず指定品を使用してください。指定品以外のものを利用すると、充電できないばかりか、電池パックを劣化させる原因となります。
- A** 着信／充電 LEDが点滅していませんか。このときは、充電ができていません。指定品の充電器を使用して充電してください。
それでも充電ができない場合は、「[お問い合わせ先](#)」または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。
- A** ACアダプタのUSB Type-Cプラグが汚れていませんか。端子部を乾いたきれいな綿棒などで清掃してから、充電し直してください。


Q 充電が止まる／充電が始まらない




- A** 本機の温度が高くなると、自動的に充電が停止します。本機の温度が下がると、充電を再開します。

Q USIMカードが認識されない

- A** USIMカードを正しく取り付けていますか。取り付け位置や、USIMカードの向きに問題はありませんか。USIMカードスロットカバーが正しくロックされていますか。電源を切り、USIMカードが正しく取り付けられているか確認したあと、電源を入れ直してください。それでも症状が改善されないときは、USIMカードが破損している可能性があります。
- A** USIMカードのIC(金属)部分に指紋などの汚れが付いていませんか。USIMカードを取り外し、乾いたきれいな布で汚れを落としたあと、正しく取り付けてください。
- A** 違うUSIMカードを取り付けていませんか。使用できないUSIMカードが取り付けられている可能性があります。正しいUSIMカードであることを確認してください。

Q 電話がかかけられない／繋がらない


A 機内モードに設定されていませんか。ステータスバーにが表示されているときは、次の操作で機内モードを解除してください。

 (長押し) →  (簡易設定) → 機内モード ( 表示)

A 相手の電話番号を全桁ダイヤルしていますか。市外局番など、「0」で始まる相手の電話番号を全桁ダイヤルしてください。

A 電波が届く場所にいますか。電波状態表示を確認しながら、電波の届く場所に移動してかけ直してください。

Q 電話の相手の声が聞こえない

A 通話音量が小さくなっていませんか。通話中にを押すと、通話音量を大きくすることができます。

文字入力用キー一覧(かな方式)

↓ ひらがな漢字[全角]

↓ 英数字[半角／全角]

↓ 数字[半角／全角]

↓ カタカナ[半角／全角]

ひらがな漢字[全角]

キー	入力
1 あ . <small>@</small>	あいうえおあいうえお
2 か ABC	かきくけこ
3 さ DEF	さしすせそ
4 た GHI	たちつてとっ
5 な JKL	なにぬねの
6 は MNO	はひふへほ
7 ま PQRS	まみむめも
8 や TUV	やゆよやゆよ
9 ら WXYZ	らりるれろ
0 わ せん	わをんわー~□[スペース]
* +A/a	`` [改行] 大文字／小文字切り替え
# 0	、。?!・□[スペース]

英数字[半角／全角]

キー	入力
1 あ . <small>@</small>	. @, / _ : - ~ 1
2 か ABC	abcABC2
3 さ DEF	defDEF3
4 た GHI	ghiGHI4
5 な JKL	jklJKL5
6 は MNO	mnoMNO6

7 ま PQRS	pqrsPQRS7
8 や TUV	tuvTUV8
9 ら WXYZ	wxyzWXYZ9
0 わ せん	, . - □ (スペース) ! " # \$ % & ' () * + / : ; < = > ? @ 「 ¥ 」 ^ _ ` { } ~ 0
* + A/a	[改行] 大文字 / 小文字切り替え
# 0	, . ? ! ' - & () ¥ □ (スペース)

数字 [半角 / 全角]

キー	入力
1 あ @	1
2 か ABC	2
3 さ DEF	3
4 た GHI	4
5 な JKL	5
6 は MNO	6
7 ま PQRS	7
8 や TUV	8
9 ら WXYZ	9
0 わ せん	0
* + A/a	* [改行]
# 0	.

カタカナ [半角 / 全角]

キー	入力
1 あ @	アイウエオアイウエオ
2 か ABC	カキクケコ
3 さ DEF	サシスセソ
4 た GHI	タチツテトツ
5 な JKL	ナニヌネノ
6 は MNO	ハヒフヘホ
7 ま PQRS	マミムメモ
8 や TUV	ヤユヨヤユヨ
9 ら WXYZ	ラリルレロ

0 <small>わ をん</small> 1	ワヲンワー～□[スペース]
* <small>° ◻ +A/a</small>	ゝ。〃 〔改行〕 大文字／小文字切り替え
# <small>ゝ</small>	、。？！・□[スペース]

1 文字種が「半角カタカナ」の場合は、「ワ」は入力できません。

文字入力用キー一覧(2タッチ方式)

↓ ひらがな漢字[全角]

↓ カタカナ[全角]

↓ 英数字[全角]

↓ カタカナ[半角]

↓ 英数字[半角]

ひらがな漢字[全角]

入力モードが「漢」の場合に入力できる文字の一覧です。

キー	入力
1 あ .@ 1 あ .@	あ／あ ¹
1 あ .@ 2 か ABC	い／い ¹
1 あ .@ 3 さ DEF	う／う ¹
1 あ .@ 4 た GHI	え／え ¹
1 あ .@ 5 な JKL	お／お ¹
2 か ABC 1 あ .@	か
2 か ABC 2 か ABC	き
2 か ABC 3 さ DEF	く
2 か ABC 4 た GHI	け
2 か ABC 5 な JKL	こ
3 さ DEF 1 あ .@	さ
3 さ DEF 2 か ABC	し
3 さ DEF 3 さ DEF	す
3 さ DEF 4 た GHI	せ
3 さ DEF 5 な JKL	そ
4 た GHI 1 あ .@	た
4 た GHI 2 か ABC	ち
4 た GHI 3 さ DEF	つ／つ ²
4 た GHI 4 た GHI	て
4 た GHI 5 な JKL	と
5 な JKL 1 あ .@	な
5 な JKL 2 か ABC	に

5 な JKL	3 さ DEF	ぬ
5 な JKL	4 た GHI	ね
5 な JKL	5 な JKL	の
6 は MNO	1 あ .@	は ³
6 は MNO	2 か ABC	ひ ³
6 は MNO	3 さ DEF	ふ ³
6 は MNO	4 た GHI	へ ³
6 は MNO	5 な JKL	ほ ³
7 ま PQRS	1 あ .@	ま
7 ま PQRS	2 か ABC	み
7 ま PQRS	3 さ DEF	む
7 ま PQRS	4 た GHI	め
7 ま PQRS	5 な JKL	も
8 や TUV	1 あ .@	や／や ¹
8 や TUV	2 か ABC	(
8 や TUV	3 さ DEF	ゆ／ゆ ¹
8 や TUV	4 た GHI)
8 や TUV	5 な JKL	よ／よ ¹
9 ら WXYZ	1 あ .@	ら
9 ら WXYZ	2 か ABC	り
9 ら WXYZ	3 さ DEF	る
9 ら WXYZ	4 た GHI	れ
9 ら WXYZ	5 な JKL	ろ
0 わ ぞん	1 あ .@	わ／わ ¹
0 わ ぞん	2 か ABC	を
0 わ ぞん	3 さ DEF	ん
0 わ ぞん	4 た GHI	ゝ／、 ¹
0 わ ぞん	5 な JKL	゜／。 ¹

- 1 $\text{X}_{+A/B}$ を1回押すと切り替わります。
- 2 $\text{X}_{+A/B}$ を1回押すと切り替わり、 $\text{X}_{+A/B}$ を2回押すとゝ(濁点)が付加されます。
- 3 $\text{X}_{+A/B}$ を1回押すとゝ(濁点)が付加され、 $\text{X}_{+A/B}$ を2回押すと゜(半濁点)が付加されます。

カタカナ[全角]

入力モードが「A」、「ア」の場合に入力できる文字の一覧です。

キー	入力	
1 あ .@	1 あ .@	ア／ア ¹

1 あ .@	2 か ABC	イ/イ ¹
1 あ .@	3 さ DEF	ウ/ウ ¹
1 あ .@	4 た GHI	エ/エ ¹
1 あ .@	5 な JKL	オ/オ ¹
2 か ABC	1 あ .@	カ
2 か ABC	2 か ABC	キ
2 か ABC	3 さ DEF	ク
2 か ABC	4 た GHI	ケ
2 か ABC	5 な JKL	コ
3 さ DEF	1 あ .@	サ
3 さ DEF	2 か ABC	シ
3 さ DEF	3 さ DEF	ス
3 さ DEF	4 た GHI	セ
3 さ DEF	5 な JKL	ソ
4 た GHI	1 あ .@	タ
4 た GHI	2 か ABC	チ
4 た GHI	3 さ DEF	ツ/ツ ²
4 た GHI	4 た GHI	テ
4 た GHI	5 な JKL	ト
5 な JKL	1 あ .@	ナ
5 な JKL	2 か ABC	ニ
5 な JKL	3 さ DEF	ヌ
5 な JKL	4 た GHI	ネ
5 な JKL	5 な JKL	ノ
6 は MNO	1 あ .@	ハ ³
6 は MNO	2 か ABC	ヒ ³
6 は MNO	3 さ DEF	フ ³
6 は MNO	4 た GHI	ヘ ³
6 は MNO	5 な JKL	ホ ³
7 ま PQRS	1 あ .@	マ
7 ま PQRS	2 か ABC	ミ
7 ま PQRS	3 さ DEF	ム
7 ま PQRS	4 た GHI	メ
7 ま PQRS	5 な JKL	モ
8 や TUV	1 あ .@	ヤ/ヤ ¹
8 や TUV	2 か ABC	(
8 や TUV	3 さ DEF	ユ/ユ ¹
8 や TUV	4 た GHI)

8 や TUV	5 な JKL	ヨ/ヨ ¹
9 ら WXYZ	1 あ . @	ラ
9 ら WXYZ	2 か ABC	リ
9 ら WXYZ	3 さ DEF	ル
9 ら WXYZ	4 た GHI	レ
9 ら WXYZ	5 な JKL	ロ
0 わ をん	1 あ . @	ワ
0 わ をん	2 か ABC	ヲ
0 わ をん	3 さ DEF	ン
0 わ をん	4 た GHI	“ /、 ¹
0 わ をん	5 な JKL	° /。 ¹


- 1 [*+A/B] を1回押すと切り替わります。
- 2 [*+A/B] を1回押すと切り替わり、 [*+A/B] を2回押すと` (濁点)が付加されます。
- 3 [*+A/B] を1回押すと` (濁点)が付加され、 [*+A/B] を2回押すと° (半濁点)が付加されます。

英数字[全角]

入力モードが「漢」、「A」、「ア」の場合に入力できる文字の一覧です。

キー	入力	
1 あ . @	6 は MNO	a/A ¹
1 あ . @	7 ま PQRS	b/B ¹
1 あ . @	8 や TUV	c/C ¹
1 あ . @	9 ら WXYZ	d/D ¹
1 あ . @	0 わ をん	e/E ¹
2 か ABC	6 は MNO	f/F ¹
2 か ABC	7 ま PQRS	g/G ¹
2 か ABC	8 や TUV	h/H ¹
2 か ABC	9 ら WXYZ	i/I ¹
2 か ABC	0 わ をん	j/J ¹
3 さ DEF	6 は MNO	k/K ¹
3 さ DEF	7 ま PQRS	l/L ¹
3 さ DEF	8 や TUV	m/M ¹
3 さ DEF	9 ら WXYZ	n/N ¹
3 さ DEF	0 わ をん	o/O ¹
4 た GHI	6 は MNO	p/P ¹
4 た GHI	7 ま PQRS	q/Q ¹
4 た GHI	8 や TUV	r/R ¹

4 た GHI	9 ら WXYZ	s/S ¹
4 た GHI	0 わ せん	t/T ¹
5 な JKL	6 は MNO	u/U ¹
5 な JKL	7 ま PQRS	v/V ¹
5 な JKL	8 や TUV	w/W ¹
5 な JKL	9 ら WXYZ	x/X ¹
5 な JKL	0 わ せん	y/Y ¹
6 は MNO	6 は MNO	z/Z ¹
6 は MNO	7 ま PQRS	?
6 は MNO	8 や TUV	!
6 は MNO	9 ら WXYZ	—
6 は MNO	0 わ せん	/
7 ま PQRS	6 は MNO	¥
7 ま PQRS	7 ま PQRS	&
7 ま PQRS	8 や TUV	🕒
7 ま PQRS	9 ら WXYZ	☎
7 ま PQRS	0 わ せん	☕
8 や TUV	6 は MNO	*
8 や TUV	7 ま PQRS	#
8 や TUV	8 や TUV	改行
8 や TUV	9 ら WXYZ	❤
8 や TUV	0 わ せん	(スペース)
9 ら WXYZ	6 は MNO	1
9 ら WXYZ	7 ま PQRS	2
9 ら WXYZ	8 や TUV	3
9 ら WXYZ	9 ら WXYZ	4
9 ら WXYZ	0 わ せん	5
0 わ せん	6 は MNO	6
0 わ せん	7 ま PQRS	7
0 わ せん	8 や TUV	8
0 わ せん	9 ら WXYZ	9
0 わ せん	0 わ せん	0

1  を1回押すと切り替わります。

カタカナ[半角]

入力モードが「アイ」、「AB」の場合に入力できる文字の一覧です。

キー		入力
1 あ	1 あ	ア／ア ¹
1 あ	2 か	イ／イ ¹
1 あ	3 さ	ウ／ウ ¹
1 あ	4 た	エ／エ ¹
1 あ	5 な	オ／オ ¹
2 か	1 あ	カ
2 か	2 か	キ
2 か	3 さ	ク
2 か	4 た	ケ
2 か	5 な	コ
3 さ	1 あ	サ
3 さ	2 か	シ
3 さ	3 さ	ス
3 さ	4 た	セ
3 さ	5 な	ソ
4 た	1 あ	タ
4 た	2 か	チ
4 た	3 さ	ツ／ツ ²
4 た	4 た	テ
4 た	5 な	ト
5 な	1 あ	ナ
5 な	2 か	ニ
5 な	3 さ	ヌ
5 な	4 た	ネ
5 な	5 な	ノ
6 は	1 あ	ハ ³
6 は	2 か	ヒ ³
6 は	3 さ	フ ³
6 は	4 た	ヘ ³
6 は	5 な	ホ ³
7 ま	1 あ	マ
7 ま	2 か	ミ
7 ま	3 さ	ム
7 ま	4 た	メ
7 ま	5 な	モ
8 や	1 あ	ヤ／ヤ ¹
8 や	2 か	(

8 や TUV	3 さ DEF	ユ / ユ ¹
8 や TUV	4 た GHI)
8 や TUV	5 な JKL	ヨ / ヨ ¹
9 ら WXYZ	1 あ . @	ラ / @ ¹
9 ら WXYZ	2 か ABC	リ / ¹
9 ら WXYZ	3 さ DEF	ル / - ¹
9 ら WXYZ	4 た GHI	レ / _ ¹
9 ら WXYZ	5 な JKL	ロ / : ¹
0 わ をん	1 あ . @	ワ / ~ ¹
0 わ をん	2 か ABC	ヲ / ‘ ¹
0 わ をん	3 さ DEF	ン
0 わ をん	4 た GHI	“ / , ¹
0 わ をん	5 な JKL	° / . ¹


- 1 $\text{X}_{+A/a}$ を1回押すと切り替わります。
- 2 $\text{X}_{+A/a}$ を1回押すと切り替わり、 $\text{X}_{+A/a}$ を2回押すと` (濁点) が付加されます。
- 3 $\text{X}_{+A/a}$ を1回押すと` (濁点) が付加され、 $\text{X}_{+A/a}$ を2回押すと° (半濁点) が付加されます。

英数字 [半角]

入力モードが「アイ」、「AB」の場合に入力できる文字の一覧です。

キー		入力
1 あ . @	6 は MNO	a / A ¹
1 あ . @	7 ま PQRS	b / B ¹
1 あ . @	8 や TUV	c / C ¹
1 あ . @	9 ら WXYZ	d / D ¹
1 あ . @	0 わ をん	e / E ¹
2 か ABC	6 は MNO	f / F ¹
2 か ABC	7 ま PQRS	g / G ¹
2 か ABC	8 や TUV	h / H ¹
2 か ABC	9 ら WXYZ	i / I ¹
2 か ABC	0 わ をん	j / J ¹
3 さ DEF	6 は MNO	k / K ¹
3 さ DEF	7 ま PQRS	l / L ¹
3 さ DEF	8 や TUV	m / M ¹
3 さ DEF	9 ら WXYZ	n / N ¹
3 さ DEF	0 わ をん	o / O ¹
4 た GHI	6 は MNO	p / P ¹

4 た GHI	7 ま PQRS	q/Q ¹
4 た GHI	8 や TUV	r/R ¹
4 た GHI	9 ら WXYZ	s/S ¹
4 た GHI	0 わ せん	t/T ¹
5 な JKL	6 は MNO	u/U ¹
5 な JKL	7 ま PQRS	v/V ¹
5 な JKL	8 や TUV	w/W ¹
5 な JKL	9 ら WXYZ	x/X ¹
5 な JKL	0 わ せん	y/Y ¹
6 は MNO	6 は MNO	z/Z ¹
6 は MNO	7 ま PQRS	?
6 は MNO	8 や TUV	!
6 は MNO	9 ら WXYZ	-
6 は MNO	0 わ せん	/
7 ま PQRS	6 は MNO	¥
7 ま PQRS	7 ま PQRS	&
7 ま PQRS	8 や TUV	—
7 ま PQRS	9 ら WXYZ	—
7 ま PQRS	0 わ せん	—
8 や TUV	6 は MNO	*
8 や TUV	7 ま PQRS	#
8 や TUV	8 や TUV	改行
8 や TUV	9 ら WXYZ	(スペース)
8 や TUV	0 わ せん	(スペース)
9 ら WXYZ	6 は MNO	1/.ne.jp ¹
9 ら WXYZ	7 ま PQRS	2/.co.jp ¹
9 ら WXYZ	8 や TUV	3/.ac.jp ¹
9 ら WXYZ	9 ら WXYZ	4/@ezweb.ne.jp ¹
9 ら WXYZ	0 わ せん	5
0 わ せん	6 は MNO	6/www. ¹
0 わ せん	7 ま PQRS	7/.com ¹
0 わ せん	8 や TUV	8/.html ¹
0 わ せん	9 ら WXYZ	9/http:// ¹
0 わ せん	0 わ せん	0/https:// ¹

1  を1回押すと切り替わります。

仕様

↓ 本体

↓ 電池パック

↓ ACアダプタ

本体

本機の仕様は次のとおりです。

項目	説明
質量	本体:約●●●g 電池パック装着時:約●●●g
連続通話時間 ¹	約●●●分(4G LTE) 約●●●分(3G) 約●●●分(GSM)
連続待受時間 ²	約●●●時間(4G LTE) 約●●●時間(3G) 約●●●時間(GSM) (クローズポジション時)
充電時間(本機の電源を切って充電した場合)	ACアダプタ:約●●●分
サイズ(幅×高さ×奥行)	約●●●×●●●×●●●mm (クローズポジション時、突起部除く)
最大出力	4G(LTE:FDD-LTE網):●●●W 3G:●●●W GSM(900MHz):●●●W GSM(1800MHz,1900MHz):●●●W

- 1 連続通話時間とは、電池の充電を満たし、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 2 連続待受時間とは、電池の充電を満たし、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信／緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。また使用環境(充電状況、気温など)や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。



仕様について

お使いの場所や状況、設定内容によって、表内の時間は変動します。

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られています。画素欠けや常時点灯する

画素がある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

電池パック

項目	説明
電圧	3.8V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	1700mAh
外形寸法(幅×高さ×厚さ)	約42.2×64.2×5.2mm(突起部除く)

ACアダプタ

項目	説明
入力	AC100V-240V 0.3A 14-20VA 50-60Hz
出力	DC 5.0V 1.2A
充電温度範囲	5°C～35°C ¹
寸法(幅×高さ×奥行き)	約30×45×71mm(突起部、コードを除く)

1 ご使用状況によっては携帯電話が温かくなることで、充電を停止することがあります。

本製品の比吸収率(SAR)について

本項目における[]とは、本機 DB62 を示しています。

↓ 本製品の比吸収率(SAR)について

↓ 米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報

本製品の比吸収率(SAR)について

この機種[]の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準^{※1}は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機[]の頭部におけるSARの最大値は●●●●W/kg^{※2}であり、また下記の方法^{※3}により身体に装着した場合のSARの最大値は●●●●W/kg^{※2}です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。

※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 頭部以外の位置におけるご使用方法

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。SARについて、さらに詳しい情報

をお知りになりたい場合は、下記のウェブサイトをご参照ください。

総務省のウェブサイト

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のウェブサイト

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

世界保健機関(英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

SoftBank スマートフォン各機種 of 電波比吸収率(SAR)一覧はこちら

<https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は●●●W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は●●●W/kgです。

身体装着の場合:この携帯電話機[]では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のウェブサイトを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

General Notes

here refers to this mobile phone

DB62

↓ [Specific Absorption Rate \(SAR\) for This Product \(for Japan\)](#)

↓ [FCC RF Exposure Information](#)

↓ [FCC Notice](#)

↓ [FCC Compliance Information](#)

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is ●●●● W/kg*** when tested for use at the ear, and ●●● W/kg*** when worn on the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

**** Use at positions other than at the ear

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use." They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

For more information about SAR, see the following websites:

Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (Japanese)

World Health Organization

<http://www.who.int/emf>

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model

<https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/> (Japanese)

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is ●●● W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is ●●● W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the handset.

The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID ●●●●●●.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Compliance Information

The product is certified by Federal Communications Commission (FCC).

The FCC ID of this product is ●●●●●●●●.

Or you can check as follows.

How to check:

In standby,   Settings  About phone  Compliance information

保証とアフターサービス

↓ 保証について

↓ アフターサービスについて

保証について

- 保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- 無料修理規定に基づき無料修理を行います。無料修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認いただけます。
<https://cdn.softbank.jp/mobile/set/common/pdf/legal/spguide/common/warranty.pdf>
- 保証対象部分は本体とACアダプタです。ケーブル類等や試供品については無料修理保証の対象外となります。

！ 注意

損害について

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

故障・修理について

故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

分解・改造について

本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、[お問い合わせ先](#)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたし

ます。なお、補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は生産打ち切り後目安として6年です。ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。



ご不明な点について

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたは[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

↓ My SoftBank

↓ チャットサポート

↓ 総合案内

My SoftBank

待ち時間0分で、いつでも簡単手続き可能です。利用料金／データ量の確認・プラン等各種変更ができます。

<https://u.softbank.jp/2HHEHkw>



チャットサポート

“チャットでチャチャッと”相談！各種変更も可能です！

<http://bit.ly/2MqDKf3>



総合案内

料金から各種サービスまで、ソフトバンクに関する総合案内窓口です。

- ソフトバンク携帯電話から157(通話料無料)
- 一般電話から ☎0800-919-0157(通話料無料)
- 受付時間：午前9時から午後8時まで